

■吉野川 加茂第一堤防完成！！～竣工式を行いました～ 【徳島河川国道事務所】

吉野川の無堤地区解消に向け平成元年度より事業に着手していた加茂第一堤防が平成26年3月に完成し、3月2日（日）に関係者約100名の参列のもと、東みよし町三加茂農業者トレーニングセンターにおいて竣工式を行いました。

その後、堤防にて実施したくす玉開披では、徳島県知事をはじめ、東みよし町長、四国地方整備局長他関係者と当該箇所の樋門の銘板を書いてくれた児童2名を含む三庄小学校児童6名も一緒に行いました。

また、河川敷にて東みよし町が主催するもち投げ、式典会場では阿波踊りを実施し、盛大に完成を祝いました。

■平成25年度「手づくり郷土賞」認定証授与式の開催について 【企画部 企画課】

「手づくり郷土賞」とは、昭和61年度に創設され、平成25年度で28回目の開催となる国土交通大臣表彰です。地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を、一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、全国の模範となるよう好事例を広く紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層進むことを目指しています。今年度は全国で大賞部門6件、一般部門40件の応募があり、四国地方整備局管内からは大賞部門1件および一般部門1件が認定されました。

<大賞部門>

かわ普請～ひょうたん島・青石護岸再生作戦～

(特定非営利活動法人新町川を守る会／徳島県)

今から23年前、新町川を守る会は「市民の汚した川は市民の手できれいに再生しよう！」を合い言葉に設立され、水の都徳島市の中心にある通称ひょうたん島とよばれるエリアを主な活動拠点としています。当初からの清掃活動に加え、現在は徳島の観光にかかせない「ひょうたん島周遊船の運航」や、花植え、植樹活動など、年間を通して多彩なイベントを行っています。その多面的な活動内容に加え、ひょうたん島沿いの劣化が目立つ青石護岸の補修工事に取り組むなど新しい取組にチャレンジしている点などが評価され、今年度全国で大賞部門に選ばれた3件のうちの一つに認定されました。

<一般部門>

復活松原泉～ 住民の熱い思いで松原泉・小川を再正～

(松原泉を管理する会)

松原泉を保存する会（現 松原泉を管理する会）は、重信川の堤防工事の進捗に伴い消失した泉を、清涼な水が湧く泉へと再生させ、多様な動植物が生息・生育する環境を目指す重信川自然再生事業に合わせ発足しました。計画・施工段階から積極的に参加するとともに、完成後7年が経過した今日でも100名規模のボランティア清掃を年2回行っています。また、それら活動の継続性に加え、俳句大会や観月会など、地元松山の文化を活かしたイベントも行っていることなどが評価され、今回一般部門に認定されました。

認定証授与式はそれぞれの活動地域で開催され、認定証と記念品盾が局長より手渡されました。

■平成25年度 四国防災トップセミナーを開催

【企画部 防災課】

- ・日 時：平成26年1月24日（金）
- ・会 場：四国地方整備局 13階災害対策室
- ・出席者：四国内の市町村長84名（代理35名）  
四国東南海・南海地震対策連絡調整会議メンバー  
四国東南海・南海地震対策戦略会議メンバー等 約300名

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長が一堂に会し、危機管理に関する意見交換を通じて、災害情報の共有や広域支援、関係機関との相互の連携強化を図ることを目的として、開催してきました。

今年で14回目となる四国防災トップセミナーでは、津波高さ34.4mの想定発表を受け、様々な防災活動に取り組まれている高知県黒潮町の大西町長と、東日本大震災で沿岸被災地への後方支援に尽力された岩手県遠野市の本田市長に基調講演頂き、四国において懸念される「南海トラフ巨大地震」への防災・減災対策について四国内の市町村長が意見交換を行いました。

大西町長には、犠牲者ゼロを目指し町民、町職員が一体となった防災活動への取組を、本田市長には、被災地への支援活動について貴重なお話をいただくとともに、参加者である四国の各市町村長からの質問にも丁寧かつ的確なご回答を頂きました。

今後とも地域防災力向上のため、より充実した四国防災トップセミナーとなるよう

努めていきます。